

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町市農産物等輸出促進事業
事業主体 (連絡先)	大町市農産物等輸出協議会 0261-22-0420
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,502,705 円 (うち支援金 : 2,755,000 円)

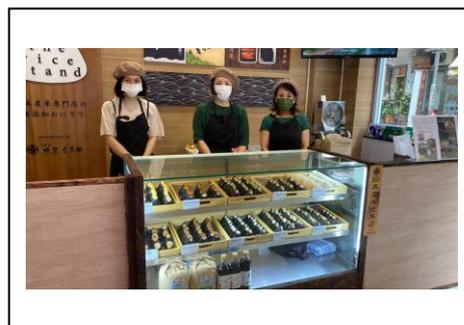
事業内容

香港において信濃大町産の米と水で土鍋を使って炊いたご飯でにぎった「こだわりのおにぎり」の店舗がオープン。この店舗でのPR動画の上映、壁面への広告掲載、包装紙でのPR、SNS記事掲載を実施した。

この香港のおにぎり専門店等で上映するPR用映像を制作したので、令和5年4月から上映。また、映像が活用できる場面で積極的に取り入れる予定。

また、海外事業者を大町市へ招へいし、生産現場や自然環境を視察いただくとともに、商品のPRを行い販路の開拓及び継続を目指すため実施。

海外への輸出の理解促進を図るため、「お米の輸出をはじめするには！」をテーマに講演会を開催。



【香港のおにぎり専門店】

【目標・ねらい】

- ①米の安定的な輸出量の確保
- ②新たな輸出品目の増加
- ③セミナー開催による輸出への理解促進を図る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①香港で大町の米と水で炊いてにぎったおにぎり専門店がオープンしたことは、国内でも難しく、海外で当市をPRする絶好機会である。そして、おにぎり店舗の売り上げが増える見込みであることから、米の輸出する量も増加する。

②海外事業者を招へいし、実際に大町市を案内し紹介することで、今後の取引きへ繋がることに期待する。

③今回は、県内の輸出事業者から講演いただくことで、具体的な取り組み方を知れる機会となった。予想よりも参加者が多く若い農家さんの顔もみられた。

※自己評価【B】

【理由】
年々順調に米の輸出量は増えていて、前年と比べ24t増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

大町市及び農産物や水等のPRとブランド化を目指し事業に取り組んできているが、米にターゲットを絞り込んで取り組んだ方が、目的がブレにくいと思われる。また、今後は事業費の確保が課題であるため、的確で明確な目標を設定し計画的に取り組んでいくことが重要であると考えられる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある